主題:60周年を迎えた清風園がめざす、これからのこども食堂

副題:~誰もが楽しめるこども食堂へ~

門: □施設 部 □在宅 ■地域包括ケア 口市民活動

事業所種別 • 名称 社会福祉法人 替育会 特別養護者人ホーム 清風園

発表者:山﨑 綾 アドバイザー:木口 圭子

共同者:

電 話:042-735-3000

FAX: 042-734-7822 URL:

やサービスの紹介

今回の発表の事業所 | 2024 年 7 月に開設 60 周年を迎えた清風園は、特別養護老人ホーム、シ ョートステイ、デイサービス、グループホーム、訪問事業、サービス付き 高齢者住宅といった様々な事業に町田市金井2丁目で取り組んでいます。

e-mail:

# 《1. 研究前の状況と課題》

8年目を迎えた清風園のこども食堂「にこに こ清風食堂」は、COVID-19 をきっかけに会 食形式から弁当形式の選択をし、会食形式のこ ども食堂が再開している現在も弁当形式を選 択し、活動を継続しています。弁当形式を必要 としている方が何を求めているのか、弁当形式 だからできることに着目し、高齢者施設の管理 栄養士ができることを活かせないか、というと ころから、誰もが楽しめる食事について考えた ことが取り組むきっかけとなった。

## 《2. 研究の目標と期待する成果・目的》

にこにこ清風食堂には、こどもから高齢者ま で幅広い年齢層の方に参加していただけてい るが、その中には、摂食嚥下に配慮してある弁 当があることで同じ弁当を一緒に食べること ができる家族がいるかもしれない、機能低下の 高齢者と発達障害や身体障害のあるこどもで 交わるところがあるのではないか?という気 づきから、きざみとミキサーの弁当販売に取り 組むことにした。

## 《3. 具体的な取り組みの内容》

にこにこ清風食堂を担当する職員へ弁当の きざみとミキサー形態の取り組みについて提 案、試作や味見をした。地域への繋がり方とし て、弁当の形態を載せたポスターを施設外掲示 板に掲示し、販売場所である金井中の学校運営 協議会や鶴川地区社協主催の地区情報交換会 で発信をした。また、社協から「児童発達支援 事業スモールバード」への発信が、御利用者の お母さんに伝わり、第一号になりました。

# 《4. 取り組みの結果と考察》

2023 年9月から広報をはじめ、ニーズに不 安を抱えつつも 2024 年度から開始したとこ ろ、5月に利用希望があった。実際に喫食したこ どもの母親から感想をもらうことができ、7月 の利用にもつながった。購入した弁当の加工で はなく、最初から加工された弁当を購入できる ありがたみ、家庭での加工時の苦労等からもこ の取り組みの成果を感じることができた。

#### 《5. まとめ、結論》

月に1度のにこにこ清風食堂の活動では、日 常的に摂食嚥下に配慮した食事を必要とする御 利用者にとって利用したい頻度が少なすぎるこ とや、利用できるのが購入場所に来ることがで きる人に限定されていることから、購入場所に 来ることができない方がいることの気づきを得 ることができた。また、高齢者の機能低下による 摂食嚥下とは異なり、発達障害や身体障害のあ るこどもを対象とすることは、高齢者施設の個 別対応よりも、より段階的な個別対応が必要に なってきたときにどこまで対応ができるのか、 など今後の課題等も考えられるようになった。

#### 《6. 倫理的配慮に関する事項》

本研究発表をおこなうにあたり、御利用者家 族には口頭やメールでのやり取りを含めた内容 の使用の同意を得ており、にこにこ清風食堂の 無記名アンケート結果についても本研究発表以 外では使用しないこと、それにより不利益を被 ることはないことを説明し、回答をもって同意 を得たこととした。